

図 土地利用図



(2)土地利用

本地域の土地利用は、住宅地と教育機関などの公共施設や商業・業務施設などがみられ、中部から南西部にかけて浄水場が連続している。住宅は、北部の淡路駅周辺にみられ、多くは木造低層住宅である。中高層住宅は淀川沿いなど一部に分布している。

商業・業務施設は大小様々な規模のものが北部～東部に分布している。

学校などの公共施設は北部では東淡路小学校が、中部では、柴島中学校がある。公園は各所に小規模なものが点在している。

図 道路網図



(3)道路網

本地域の広域幹線道路は、南側を大阪高槻京都線が淀川沿いに通り、北側を大阪高槻線が東西に通る、西側には新御堂筋が南北に通っている。地域内には、広幅員の幹線道路はみられない。

区画道路は、一般の生活道路で、乗用車の対向が可能な幅員の道路で、中部以南の地域にみられる。

狭隘道路や行止り道路は、乗用車の対向が、しにくいかできない道路や袋小路となった行止りの道路で、北部や南部などの住宅地区に多くみられる。

図 外水氾濫予測図(淀川)



2-4.災害予測等

(1)水害予測

①淀川外水氾濫

淀川の外水氾濫予測図によれば、本地域は、浸水深の最大は4m～5mで、東部にみられ、北部の市街地では3m～4mの浸水深となる予測である。中部、南部の一部は浸水しない。収容避難所である東淡路小

学校は、1階まで浸水する予測となっている。

②神崎川・安威川の外水氾濫

神崎川・安威川の外水氾濫予測図では、淀川の外水氾濫予測図によれば、本地域は、浸水深の最大は1m～2mで、北部にみられ、中部、南部は浸水しない。収容避難所である東淡路小学校は、1階まで浸水する予測となっている。

③内水氾濫

内水氾濫予測図によれば、本地域は、0.5m～1.0mの浸水深が北部にかけての一部にみられる。

東淡路小学校、柴島中学校は1階は浸水しない予測となっている。

(2)地震予測

①震度予測

南海トラフを震源とする地震が活動した時の震度予測は、本地域は全域が震度6強の激しい揺れが発生するものと予測されている。

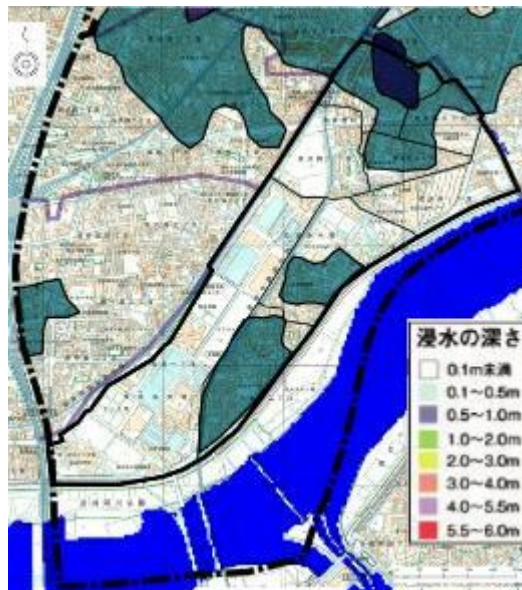


②液状化

地盤の液状化はその土地の地下に堆積する砂層の分布や固結度、地下水位などの状況により大きく変化する。

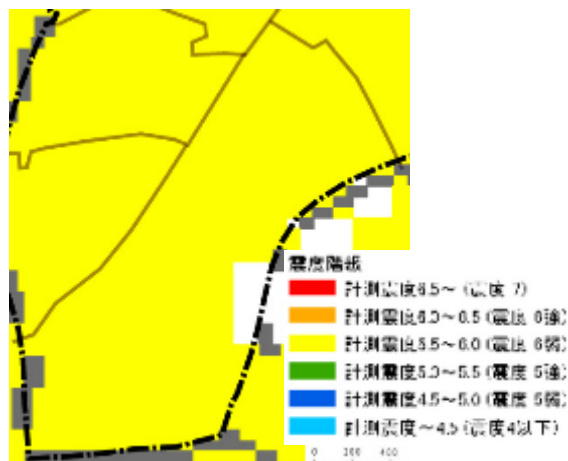
本地域の液状化の危険性は、全般に高く、北部、中部で特に高く、発生しやすい地区がみられる。

図 内水氾濫予想区図



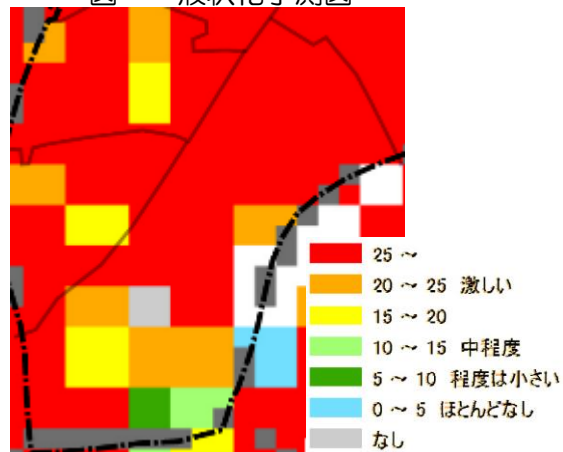
作図) (株) ランドシステム研究所、岡本

図 震度予測図



資料) 大阪府

図 液状化予測図



資料) 大阪府